

6. この法人の事業に対する理解の普及

6-1 機関誌の発行、情報公開

<事業計画>

公益目的事業について理解と協力を得ることを目的に、全国の大学及び関係機関に機関誌「大学教育と情報」の発行とインターネットによる発信を行う。また、全国の大学関係者に事業内容の理解を普及するため、九州、関西・中四国、東海、東北、北海道の5地域で事業活動報告交流会を実施する。

<事業の実施状況>

「事業普及委員会」及び「事業普及委員会翻訳分科会」を継続設置して、機関誌の発行、海外情報の選定・翻訳、インターネットによる情報公開・配信・意見収集、事業活動報告交流会を通じて、本協会が実施する公益目的事業について理解の普及を行った。以下に、委員会及び事業活動報告交流会の活動状況について報告する。

事業普及委員会、翻訳分科会

事業普及委員会は、6月12日、8月4日、10月27日、11月21日、平成30年2月26日に平均5名が出席し、5回開催した。公益目的事業の理解普及を推進するため、年間4回の機関誌「大学教育と情報」の発行とホームページで情報公開を行った。また、事業普及委員会ではEDUCAUSEの機関誌について紹介すべき内容の吟味をしたが、平成29年度は該当なく翻訳は実施しなかった。以上の他、公益目的事業の理解の普及を図るため、事業活動報告交流会を5地域で実施した。

(1) 機関誌「大学教育と情報」の発行

6月、9月、12月、3月の4回に亘り、80頁の規模で全国の大学・短期大学、文部科学省・関係団体、賛助会員を対象に以下の方針で、12,000部発行している。

- ① 公益目的事業に対する理解の促進を図るため、事業活動の内容に加えてICTを活用した大学教育の改善、新しい視点による情報教育改善の取り組み、国や関係機関の審議動向、マスコミ報道などを踏まえ、時宜に合ったインパクトのある情報を提供するようにした。
- ② 上記の方針に沿って、特集では、「知識の創造を目指したICT活用教育モデルの研究」「モバイル等を活用したアクティブ・ラーニング」、「問題発見・解決思考の情報リテラシー教育の研究」、「情報セキュリティ」を掲載することにした。
- ③ 教育改革に組織的に取り組む事例を紹介するため、「大学の組織的な取り組みの工夫」として、学修成果の可視化、教学IR、人工知能を用いた自己成長支援などをテーマに事例紹介することにした。
- ④ 事業活動報告として、平成24年度に刊行した「大学教育への提言」(未知の時代を切り拓く教育とICT活用)に掲載の5年先を想定した30分野の「ICTを活用した教育改善モデル」を毎号掲載することで、大学に理解の普及を働きかけることにした。
- ⑤ 政府関係機関事業紹介として、国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービスについて協力依頼があり、定期的に関係情報を掲載することにした。

以下に、平成29年度に4回発行した目次を掲載する。

大学教育と情報(2017年度No. 1 : 29年6月)

- ・巻頭言「女性が新しい生き方を見つけられる大学へ」 高島 一路
- ・特集「知識の創造を目指したICT活用教育モデルの研究」
 - 「本協会研究のICTによる分野横断型フォーラム授業の構想」
 - 「市民性の涵養を目指した法政策フォーラム型授業の提案」 加賀山 茂
 - 「事業価値をテーマにした知識組み合わせによる会計教育モデルの提案」 金川 一夫
 - 「健康をテーマにした知識の創造を目指した分野横断型教育モデルの提案」 片岡 竜太
 - 「自主創造を目指した宇宙開発に関する分野横断型PBLの取り組み」 神原 正樹
 - 青木 義男
- ・教育・学修支援への取り組み [園田学園女子大学]
- ・私立大学情報教育協会とは
- ・私情協ニュース
- ・事業活動報告
- ・各事業への参加募集
- ・賛助会員だより

大学教育と情報 (2017年度No. 2 : 29年9月)

- ・巻頭言「教育改革とeポートフォリオ」 藤本 元敬
- ・特集「モバイル等を活用したアクティブ・ラーニング」
 - 「受講者100人超の大人数講義における双方性向上の取り組み」 佐野 光彦
 - 植村 仁、中川万喜子、中西 久雄
 - 「モバイルとPCを活用したアクティブ・ラーニング環境」 宮田 義郎
 - 「スマートフォンを活用した大人数授業におけるアクティブ・ラーニング」 大津 晶
 - 「大人数授業にスマートフォンを活用した双方性授業の展望と課題」 久保田裕美
 - 「携帯・スマホクリッカーを利用した授業運営の展開」 杉井 俊夫
- ・大学の組織的な取り組みの工夫
 - 「学修成果の可視化」への取り組み ~新潟工科大学の例~ 飯野 秋成
 - 「eシラバスによるアクティブ・ラーニングの推進と自己成長シートによる学習成果の可視化」~金沢工業大学の例~ 山本 知仁
 - 「全学基盤力テストと外部評価による質保証への取り組み」 千代 勝美
 - ~山形大学の例~
- ・事業活動報告 「ICTを活用した教育改善モデル(経済学分野)など
- ・各事業への参加募集
- ・賛助会員だより
- ・私情協ニュース

大学教育と情報 (2017年度No. 3 : 29年12月)

- ・巻頭言「グローバル社会で輝く女性リーダ」を目指して 金子 朝子
- ・特集「問題発見・解決思考の情報リテラシー教育の研究」
 - 「価値の創出を目指した問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデルの提案」 玉田 和恵
 - 「到達目標C」領域の考え方と教材の例 大原 茂之
 - 「文系(経済学)教育における情報リテラシー教育授業モデルの例」 小島 完二
 - 「理系(機械工学)教育における情報リテラシー教育授業モデルの例」 角田 和巳
 - 「医療系(薬学分野)の情報リテラシー教育授業モデルの例」 大谷 壽一
 - 「栄養学教育における情報リテラシー教育授業モデルの例」 武藤志真子
 - 「実習系(被服学)教育における情報リテラシー教育授業モデルの例」 阿部 栄子
 - ー繊維製品品質管理士養成教育ー
- ・教育・学修支援への取り組み [帝京大学]

- ・事業活動報告 「ICTを活用した教育改善モデル(医学分野)など
- ・政府関係機関事業紹介
- ・私情協ニュース
- ・各事業への参加募集
- ・賛助会員だより

大学教育と情報 (2017年度No. 4 : 30年3月)

- ・巻頭言「より良い情報環境を目指して」 末次 正
- ・特集「情報セキュリティ」
 - 「高等教育機関に対するサイバー攻撃の動向と情報セキュリティ対策の考え方」 洞田 慎一
 - 「情報セキュリティのベンチマーク評価結果から見た課題」 浜 正樹
 - 「私立大学における情報セキュリティ対策強化のための取り組み手順」
 - 「大学情報セキュリティベンチマークリストの評価結果」
- ・大学の組織的な取り組みの工夫
 - 「重層的P D C Aサイクルにおける教学I Rの意義」 畑野 快
 - ～大阪府立大学の例～ 星野 聡孝
 - 「人工知能を用いた自己成長支援システム」 高島 伸治
- ・政府関係機関事業紹介
- ・事業活動報告
- ・各事業への参加募集
- ・投稿 「サステナブル社会の実現に向けたソーシャル・デザイン教育とICT活用の事例」
- ・賛助会員だより
- ・私情協ニュース

(2) インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの枠組みを事業活動に連動できるよう、「望ましい教育改善モデルの探究」、「情報教育のガイドライン」、「高度な情報環境づくり」、「大学連携・産学連携の推進」、「教職員の教育力向上」、「高度情報化の支援」、「分野別研究発表の検索」を設定し、事業の活動報告としての成果物及び各種委員会の議事概要を公開している。また、事業ごとにインターネットで意見・要望を収集するための入力サイトを設け、事業の点検・評価・改善を行っている。

公益社団法人 **私立大学情報教育協会**
Japan Universities Association for Computer Education

検索

- 協会の概要
- 事業計画
- 法人情報
- 会員情報
- 委員会活動
- 会議・大会・講習会案内/報告
- ICT利用研究受賞論文
- ICTを活用した分野別研究発表
- 教育コンテンツ相互利用システム
- 機関誌 大学教育と情報

望ましい教育改善モデルの探究

情報教育のガイドライン

高度な情報環境づくり

大学連携・産学連携の推進

教職員の教育力向上

高度情報化の支援

分野別研究発表の検索

大岡 成彦 佐藤 一樹 田村 一樹 中村 博二 河藤 裕氏

第3回 ～新たな価値を創出するビッグデータの活用～ [動画はこちら](#)

第2回 ～未来を創るソーシャルネットカ～ [動画はこちら](#)

第1回 ～情報ネット社会の期待と課題～ [動画はこちら](#)

「大学教育への提言」—未知の時代を切り拓く教育とICT活用

平成24年11月刊行

[PDFでの閲覧はこちら](#)